



La Comparsa

第四十五話 リンパのお話...



昨今、リンパが何かと話題になっています。本院では、平成19年からリンパドレナージをリハビリに取り入れています。

リンパの流れを積極的に促す手技が、リンパドレナージです。この手技は非常に柔らかく、一般的なマッサージを期待されている患者さんは、単に撫でられているように感じられることでしょう。

第四十六話 喋れないフルートのお話...

昭和58年4月15日に開園した東京ディズニーランドは30周年イベントで盛り上がっているそうです。そのディズニーランドにミッキーマウスがいるのはご存知のことでしょう。ミッキーの恋人のミニー、アヒルのドナルドダック、犬のグーフィー。彼らは話せるのに、犬のプルートは喋れないので。

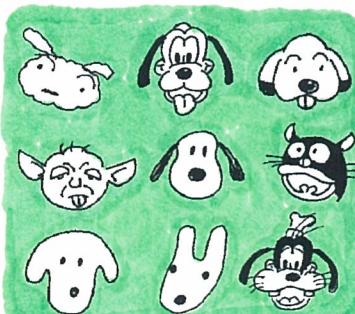
プルートは、ミッキーのペットという設定です。ペットは擬人化されていない犬のままの存在となっています。これは、アンパンマンでも同じです。あんパンや歯みがき、または天丼でさえ喋れるのに、犬のチーズはアンアンアンと吠えるだけです。チーズもまた擬人化されていないペットという設定なのです。

リンパの働きには、大きく「排泄機能」と「免疫機能」のふたつがあります。体の老廃物を運搬して排泄する役割と、細菌やウィルスを退治する役割です。また、細胞への栄養供給を担っていることから、リンパ液の循環が円滑になれば、細胞が活性化し免疫力が高まります。その他にも、関節の潤滑剤となる脂肪の供給も行っているため、関節の動きがスムースになります。

リンパ液は、皮膚のすぐ下にある細い管から、その深部にある本管へ移動し、右リンパ本管・胸管を経て、両方の鎖骨の付け根から心臓へ流れ込みます。リンパドレナージに用いる手技は、①軽擦法（手の甲や腹で皮膚の上を軽くゆっくりと、一方方向へ動かす手技）、②押節法（手や指の腹を使ってリンパ節に極軽い圧をかける手技）、③皮動法（皮膚をリンパ節の方向へ半円を描くようにずらす手技）の3つからなります。

ご自身の腕を付け根から指先に向かって何度か擦ってみると、腕が重く感じられませんか。次に、逆方向の指先から上に向かって何度か擦ってみると先ほどとは違い、軽く感じられると思います。これがリンパの流れです。リンパの本管には弁があり、一方通行ですが、表面の毛細管は弁がないため擦る方向へ流れるのです。(Y)

プルートはどれ？



ディズニーで話のできるキャラクターは4本指で、白い手袋をしています。5本指にすると人間くさくなつて、嫌らしさが出るそうです。ピノキオで登場するコオロギのジミニー・クリケットも白い手袋をしていますね。

ところで、くまのプーさんは手袋をしていないのに話せますよね。プーさんはクリストファー・ロビンという男の子のぬいぐるみで、作者である彼の父親が、物語の中で男の子と喋らせていましたね。余談ですが、プーさんて意地悪ですよね。(Y)

*** 7月の院内研修と委員会は次のとおりです ***

- | | | |
|-----------------|-------------------|-----------------|
| ○感染対策委員会 1日（月） | ○身体拘束廃止委員会 18日（木） | ○安全対策委員会 29日（月） |
| ○褥瘡対策委員会 30日（火） | | |

リハビリ室の平行棒で、患者さんと♪ラチャチャチャ～ラ♪と歩く練習をしているときに、他の患者さんが、「それは、クンパルシータですよ」と教えて下さいました。とても博識な方で、いつもいろいろと教えて頂きました。患者さんから教わる気持ちと、その方を忘れないためにこのタイトル名にしました。